

# JBMS

## 複写機用語

Glossary of Terms for Copying Machines

**JBMS-01** : 2023

令和 5 年 3 月改正

(March, 2023)

一般社団法人 **ビジネス機械・情報システム産業協会**  
Japan Business Machine and Information System Industries Association

### プリンター・複合機部会 技術分科会 委員構成表

(分科会長)	奥 津 俊 久	キヤノン株式会社
(副分科会長)	堀 内 孝 郎	シャープ株式会社
	竹 内 友 和	株式会社リコー
(委員)	岡 崎 英 俊	沖電気工業株式会社
	増 田 道 晴	キヤノン株式会社
	植 田 洋 司	京セラドキュメントソリューションズ株式会社
	住 谷 忠 昭	コニカミノルタ株式会社
	城 越 順 二	セイコーエプソン株式会社
	中 山 浩	東芝テック株式会社
	宇 田 和 布	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
	辻 原 啓 之	ブラザー工業株式会社
	姜 成 泰	村田機械株式会社
	尾 崎 淳	理想科学工業株式会社
(事務局)	山 中 俊 久	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

### 標準化センター JBMS 推進専門委員会委員構成表

(委員長)	本 橋 敦	株式会社リコー
(委員)	大 塚 晃 次	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
	米 山 剛	コニカミノルタ株式会社
(事務局)	渡 辺 靖 晃	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

---

規格番号：JBMS-01

制 定：昭和46年10月01日

改 正：令和5年3月23日（第4版）

原案作成：プリンター・複合機部会 技術分科会

審 議：一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 標準化センター JBMS 推進専門委員会

制 定：一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 標準化センター

この規格についての意見又は質問は、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 標準化センターへお願いいたします。

〒108-007 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7階 Tel 03-6809-5010 (代表)

## 目 次

	ページ
序文 (Introduction) .....	1
1 適用範囲 (Scope) .....	1
2 引用規格 (Normative references) .....	1
3 用語の分類 .....	1
4 番号, 用語, 読み方及び意味 .....	2
4.1 一般名称 .....	2
a) 仕様 .....	2
b) 給紙・搬送 .....	5
c) 帯電 .....	6
d) 露光・読み取り・書き込み .....	7
e) 現像 .....	8
f) 転写 .....	10
g) 分離・剥離 .....	11
h) 定着 .....	12
i) 機構・機能 .....	13
j) 周辺機器 .....	15
4.2 部品 .....	17
a) 操作パネル .....	17
b) 給紙・搬送・駆動 .....	18
c) 帯電 .....	19
d) 露光・読み取り・書き込み .....	20
e) 現像 .....	21
f) 転写 .....	22
g) 分離・剥離 .....	23
h) 定着 .....	23
i) クリーニング .....	24
4.3 消耗品 .....	25
4.4 環境 .....	26
4.5 別表 .....	27
解説 .....	34

## まえがき Foreword

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

This standard is copyrighted work protected by copyright laws.

Attention should be drawn to the possibility that a part of this Standard may conflict with a patent right, application for a patent right after opening to the public or utility model right which have technical properties. The Japan Business Machine and Information System Industries Association is not responsible for identifying the patent right, application of a patent right after opening to the public and utility model right which have the technical properties of this kind.

ビジネス機械・情報システム産業協会規格  
Japan Business Machine and Information  
System Industries Association Standard

JBMS-01 : 2023

## 複写機用語

### Glossary of Terms for Copying Machines

#### 1 適用範囲 (Scope)

この規格は、一般に用いられる間接静電複写機用語の読み方及び意味について主として規定する。ただし、現時点ではほとんど使われないジアゾ複写機、直接静電複写機用語については、過去の参考として改正前の項目を別表として残すこととした。なお、参考のために対応英語を示す。

This standard describes commonly used terms for electrostatic process copying machine, their readings and meanings primarily provide for. However, as for the terms diazo copier and dry process indirect method electrostatic photocopying machine, which are rarely used at present, the items before the revision are retained in the attached table for reference in the past. The corresponding English language is shown for reference.

#### 2 引用規格 (Normative references)

この規格には、引用規格はない。

#### 3 用語の分類

用語の分類は、次のとおりとする。

- (1) 一般名称
- (2) 部品
- (3) 消耗品
- (4) 環境

(ただし、現在ではほとんど使われない過去の用語を、参考として、番号順に別表に一覧掲載した。)

#### 4 番号、用語、読み方及び意味

番号、用語、その読み方及び意味は、次のとおりとする。

**注記** 用語の意味欄において太字で示した部分は、この規格で用語として定義されていることを示す。

##### 4.1 一般名称

###### a) 仕様

表 1－仕様名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1000	複写機	ふくしゃき	文書、図面などを複製する機械。	copying machine
1005	複写機機能	ふくしゃききのう	プラテンガラスをもち、パソコンを介さず、複写機能をもつことを <b>複写機</b> 機能と呼ぶ。	copier function
1020	静電複写機	せいでんふくしゃき	半導体の光導電性を応用した <b>複写機</b> 。	electrostatic process copying machine
1025	乾式間接静電複写機	かんしきかんせつせいでんふくしゃき	均一に帯電した感光体表面に、原稿像を光学レンズを通して直接照射結像させて静電潜像を形成し、粉状の <b>現像剤</b> を用いて可視像を形成する複写機。	dry process indirect method electrostatic photocopying machine
1027	デジタル複写機	でじたるふくしゃき	画像を電気信号に変換した後、この電気信号によって再び可視像を形成する <b>複写機</b> 。	digital copier
1030	カラー複写機	からーふくしゃき	原稿と同じ色彩画像が得られる3原色以上の発色機能をもつ <b>複写機</b> 。 フルカラー複写機ともいう。	color copying machine
1041	複写サイズ	ふくしゃさいず	使用できるコピー用紙の大きさ。 用紙サイズともいう。	copy size
1042	ウォームアップタイム		電源スイッチを入れてから複写動作の開始が可能になるまでの時間。 ウェイトタイムともいう。	warm-up time
1043	ファーストコピータイム		スタートキーを押してから1枚目のコピー用紙が排出し終るまでの時間。	first copy time
1044	連続複写速度	れんぞくふくしゃそくど	連続コピーの場合、2枚目以降に排出されるコピーについて単位時間当たりのコピー枚数。ただし、連続巻取式の <b>複写機</b> では排出部を通過する単位時間当たりの長さをいう。コピースピードともいう。	copy speed

表 1—仕様名称（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1045	コピーボリューム		ある単位期間に複写されるコピー枚数のことで、通常“1ヵ月”のコピー枚数。	copy volume
1046	解像力	かいぞうりょく	近接した線が1mm幅の中に何本分離して判別できるかの限界値。一般的には解像力チャートを用いて判別する。	resolution
1047	複写倍率	ふくしゃばいりつ	原稿の画像寸法に対する、複写された画像寸法の線倍率。	magnification
1048	給紙容量	きゅうしりょうりょう	給紙部（カセット、トレイ、デッキなど）に一度に収容できるコピー用紙枚数。ロールペーパーの場合は、長さ又は換算枚数。	paper stack capacity
1049	複合機	ふくごうき	<b>複写機</b> にFAX機能及びプリンター機能を付加したものを基本的に複合機と呼び、更に、プリンターに <b>複写機機能</b> をもたせたものも複合機の範囲に含める。 （ただし、拡張機能付複写機も複合機の範疇に含む。更に、 <b>複写機機能</b> をもつとは、市場にてオプションなどの付加によってその機能をもつものも含める）	multifunction device/ peripheral(MFD/MFP)
1052	大判複合機	おおばんふくごうき	プリンター機能及びFAX機能などが付加されたA2サイズ又は17×22インチ以上の用紙にコピー可能な <b>複写機</b> 。	large format multifunction device/ peripheral
1053	ファーストジョブ タイム		電源スイッチを入れてからコピーが1枚排紙されるまでの時間。	first job time
1054	リカバリータイム		国際エネルギースタープログラムで規定の低電力モードからの復帰時間。	recovery time
1055	解像度	かいぞうど	読み取りセンサーの画素密度を読み取り解像度といい、レーザー書き込みによるドット密度を書き込み解像度という。単位長さは25.4mmで、単位はdpi。	resolution
1056	階調	かいちょう	同一色で表現可能な異なった濃度の数。	tone number

表 1—仕様名称（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1057	画像欠け幅	がぞうかけはば	目一杯書き込まれた原稿を複写した場合に用紙の周辺の記録できない範囲。	image blank
1058	主走査	しゅそうさ	読み込み系では、光学系の走査方向に対し直角の方向のこと。書き込み系では、 <b>感光体</b> の軸方向。	main scanning
1059	副走査	ふくそうさ	読み込み系では、光学系の走査方向のこと。書き込み系では、 <b>感光体</b> の回転方向。	sub scanning
1060	タンデム方式	タンデムほうしき	<b>カラー複写機</b> において、 <b>感光体</b> を含むプロセスユニットを3セット以上(例：Y,M,C,K 用)もって画像形成をする方式。	tandem method
1061	カートリッジ方式	カートリッジほうしき	<b>複写機</b> においては、一般に <b>現像剤</b> 、 <b>トナー</b> 機構部などを容器ごと簡便に交換する方式。	cartridge type
1062	レディモード		既にウォームアップが完了しているが低電力モードにはまだ移行していない、いつでもコピーが可能な状態。	ready mode

## b) 給紙・搬送

表 2—給紙・搬送名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1100	給紙	きゅうし	コピー用紙を機内に送り込むこと。	paper feeding
1110	手差し給紙方式	てざしきゅうしほ うしき	<b>給紙</b> を手で行う方式又は給紙カセットトレイを使わないで別の用紙挿入口に1枚又は何枚か置くことで <b>給紙</b> する方式。	manual paper feed feed bypass
1111	マルチ手差し給紙	まるちてざしきゅ うし	手差し給紙の一つで、一度に複数枚の用紙を置くことができ、 <b>給紙</b> の度に1枚ずつ手で用紙を補給する必要がないもの。	multiple feed bypass
1112	シングル手差し給紙	しんぐるてざしき ゅうし	手差し給紙の一つで、 <b>給紙</b> の度に1枚ずつ手で用紙を補給する必要があるもの。	single feed single feed bypass
1120	自動給紙方式	じどうきゅうしほ うしき	<b>給紙</b> を自動的に行う方式。	automatic paper feed
1121	シート自動給紙方式	しーとじどうきゅ うしほうしき	あらかじめ裁断されたコピー用紙を自動的に <b>給紙</b> する方式。	automatic sheet paper feed
1134	エアー給紙	えあーきゅうし	空気の吸引によりコピー用紙を機内へ送り込むこと。	air suction feed

## c) 帯電

表 3—帯電名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1200	帯電	たいでん	<b>露光</b> に先だつて <b>感光体</b> に一様に静電気を帯びさせること。通常、コロナ放電による。	electrostatic charge
1210	コロナ帯電	ころなたいでん	タングステンワイヤーなどの電極にコロナ放電開始電圧以上の電圧を印加し、コロナ放電によって <b>感光体</b> を <b>帯電</b> させること。	corona charging
1220	接触帯電	せつしょくたいでん	電圧を印加したローラー、ブラシ、ブレードなどの帯電デバイスを <b>感光体</b> 表面に押し当てて <b>帯電</b> させる方式。	contact charging
1230	ローラー帯電	ろーらーたいでん	電圧を印加した導電性弾性ロールを <b>感光体</b> に押し当て <b>感光体</b> と共に接触回転させて <b>帯電</b> させること。	roller charging
1240	ブラシ帯電	ぶらしたいでん	導電性繊維から成るブラシ状繊維を <b>感光体</b> に押し当て電圧を印加して <b>帯電</b> させること。	brush charging
1250	注入帯電	ちゅうにゆうたいでん	<b>接触帯電</b> 方式において帯電デバイスと <b>感光体</b> の間の微小ギャップでの放電現象にはよらない帯電方法。 オゾンの発生が見られない。	injection charging

## d) 露光・読み取り・書き込み

表 4—露光・読み取り・書き込み名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1300	露光	ろこう	<b>感光体</b> に光像を照射して潜像を形成させること。	exposure
1325	ホームポジション	ほーむぼじしょん	原稿台，光学系などの反復機構， <b>感光体</b> などの回転機構の複写開始時の基準位置。	home position
1330	静電潜像	せいでんせんぞう	<b>露光</b> された <b>感光体</b> 表面に形成された静電荷像。通常，肉眼では判読できない。 <b>帯電</b> された <b>感光体</b> 表面に <b>露光</b> によって光像を結像させ，又は電気信号に変換された原稿像を照射し，光の当たった部分の電荷を消失させることにより形成される電荷の像。	latent image
1350	フラットベッド		原稿台ガラスをもち光学系を走査し原稿を読み取る方式。	flat-bed
1360	シートスルー		光学系を走査させず，原稿を移動させて読み取る方式。原稿移動式露光方式と同じ。 シートフェッドともいう。	sheet-through sheet-fed

## e) 現像

表 5-現像名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1400	現像	げんぞう	静電潜像を可視像に変えること。	developing
1410	乾式現像	かんしきげんぞう	感光体をトナーと呼ばれる粉体で現像すること。	dry developing
1411	磁気ブラシ現像	じきぶらしげんぞう	現像剤をマグネットに吸着させ、感光体をこすることによってトナーを潜像部に付着させて現像すること。	magnetic brush developing
1443	一成分現像	いちせいぶんげんぞう	キャリアー粒子を用いず、トナーだけで現像する方式で、トナーは磁性と非磁性の両方がある。	mono-component development
1444	二成分現像	にせいぶんげんぞう	キャリアーと呼ばれる磁性粒子とトナーが混合された現像剤を用いた現像方式。	two-component development
1445	ロータリー現像	ろーたリーげんぞう	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックなど複数の現像器を回転体に取り付け、各色の現像器を順次感光体に対向させて現像する方式。	rotary development
1451	現像バイアスコントロール	げんぞうばいあすこんとろーる	見やすいコピー画像が得られるように、原稿の種類に応じた電圧を現像器にかける方式。	developing bias control
1452	現像剤濃度自動調整	げんぞうざいのうどじどうちょうせいそうち	2成分現像剤のキャリアーとトナーの混合比率を自動的に制御する機能。	automatic toner density control
1460	複写濃度	ふくしゃのうど	コピーの画像部の濃度。	image density
1461	かぶり濃度	かぶりのうど	コピーの非画像部の濃度。通常、局部的よごれは除く。地かぶり濃度ともいう。	fog density
1462	階調再現性	かいちょうさいげんせい	写真のような中間調を含む原稿をコピーした時の濃淡再現性。一般的には、グレースケールで判別する。	tone reproduction
1463	ハーフトーン		網点により形成された濃淡の中間色調。	halftone

表 5—現像名称（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1465	エッジ現象	えっじげんしょう	コピー上の幅広い面積のべた部においてその中央部の濃度が周辺部よりうすくなる現象。エッジ効果ともいう。	edge effect
1470	黒べた	くろべた	ある程度以上の幅又は面積のある一様な黒色部分。べた黒ともいう。	solid
1471	ラインコピー		線や文字によって構成された原稿のコピー。線画像ともいう。	line copy
1475	カラーパッチ		色の再現性を見るために標準的な有彩色の短冊をパッチワーク上に並べたチャート。	color patch
1480	グレースケール		白と黒を含め、その間の中間色（ <b>ハーフトーン</b> ）を段階的に濃度を変えて並べたチャート。	gray scale

## f) 転写

表 6-転写名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1500	転写	てんしゃ	<b>感光体</b> 上の像をコピー用紙上に移すこと。	transfer
1511	コロナ転写	ころなてんしゃ	<b>感光体</b> と接触する複写用紙の背面からコロナ放電により電荷を与え <b>感光体</b> 表面の <b>トナー</b> 像をコピー用紙上に <b>転写</b> すること。	corona transfer
1512	ローラー転写	ろーらーてんしゃ	表面に電荷を与えたローラーを用いて <b>感光体</b> 上の像をコピー用紙上に <b>転写</b> すること。	roller transfer
1540	ベルト転写方式	べるとてんしゃ	ベルトに電荷を付与して複写用紙を吸着搬送すると共に <b>感光体</b> 上の <b>トナー</b> 像を用紙上に <b>転写</b> する方式。	belt transfer method
1550	中間転写方式	ちゅうかんでんしゃほうしき	<b>カラー複写機</b> において、各色の <b>感光体</b> 上に作像した <b>トナー</b> 像をあらかじめ中間転写体に <b>転写</b> してから転写紙に <b>転写</b> する方式。	intermediate transfer method
1560	多重転写方式	たじゅうてんしゃほうしき	<b>感光体</b> 上に形成された各色 <b>トナー</b> 像を順次用紙上に <b>転写</b> して <b>トナー</b> 画像を重ね合わせる転写方式と、いったん中間転写体上に <b>トナー</b> 像を重ね合わせた後、用紙上に一括 <b>転写</b> する <b>中間転写方式</b> がある。	multi-transfer method

## g) 分離・剥離

表 7-1 分離・剥離名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1600	分離／剥離	ぶんり／はくり	転写後のコピー用紙を <b>感光体</b> から分けること。	separation
1601	エア－分離	えあ－ぶんり	空気の吸引又は吹きつけによって <b>感光体</b> からコピー用紙を <b>分離</b> すること。サクシオン分離ともいう。	air separation suction separation
1602	静電分離	せいでんぶんり	コロナ放電により <b>感光体</b> からコピー用紙を <b>分離</b> すること。除電分離ともいう。	corona separation
1603	爪分離	つめぶんり	爪状の部品を用いて <b>感光体</b> 、 <b>定着ローラー</b> などからコピー用紙を <b>分離</b> すること。	claw separation

## h) 定着

表 8—定着名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1700	定着	ていちゃく	転写後のコピー用紙上のトナーを固着させること。	fixing fusing
1710	熱定着	ねつていちゃく	熱を利用して定着させること。	heat fixing
1713	熱ローラー定着	ねつろーらーてい ちゃく	加熱されたローラー間を通過させることにより定着させること。 ヒートローラー定着ともいう。	heat roller fixing
1714	フラッシュ定着	ふらっしゅてい ちゃく	キセノンランプなどのせん光によってコピー用紙上のトナーを定着させること。	flash fixing
1720	圧力定着	あつりょくてい ちゃく	圧力をかけたローラー間を通過させることによって、圧力だけでコピー用紙上のトナーを定着させること。	pressure fixing
1730	I H定着	あいえいちてい ちゃく	高周波による電磁誘導現象(渦電流)を利用して熱ローラー等の芯金を加熱させる定着方式。 電磁誘導加熱定着ともいう。	induction heat fixing
1740	ベルト定着	べるとていちゃく	加圧ローラーの代わりにベルトを用いてコピー用紙を熱ローラーに圧着させることにより定着を行う方式。	belt fixing
1750	フィルム定着	ふいるむてい ちゃく	耐熱性と離型性をもつ薄膜フィルムを介してコピー用紙に熱を供給する定着方式。	film fixing
1760	オンデマンド定着	おんでまんどてい ちゃく	コピー作成の稼動時だけ定着装置に熱を供給して定着を行う方式。	on-demand fixing

## i) 機構・機能

表 9—機構・機能名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1801	可変倍率機構	かへんばいり つきこう	複写された画像寸法が原稿に対して拡大又は縮小されるような複写方式において、その <b>複写倍率</b> が可変となる機構。段階的に変るものと、無段階に変るものがある。なお、変倍機構ともいう。 また、類義用語としてリダクション機構、縮小機構、拡大機構ともいわれている。	variable magnification device
1802	自動濃度調整	じどうのうど ちょうせい	原稿の種類に応じて自動的に画像の濃度を調整する機能をいう。	automatic density control
1803	割り込み機能	わりこみきの う	連続コピー中、一時中断して他のコピーをとり、その後、元の連続コピーの状態に復帰する機能。なお、割り込みコピーともいう。	interruption
1804	イメージリピート		同一原稿を一枚の用紙に指定した数だけレイアウトするようにコピーする機能。リピート機能ともいう。	repeat function
1805	オートクリア機能	おーとくりあ きのう	コピー完了後、規定の時間が経過すると自動的に初期状態に復帰する機能。 例えば、用紙サイズ、コピー濃度、コピー枚数変更などに用いる。 なお、自動復帰ともいう。	auto clear function
1806	オートシャットオフ機能	おーとしゃつ とおふきのう	コピー完了後、規定の時間が経過すると自動的に電源を切る機能。ただし、小容量の結露防止ヒーターなどの電源を切らない場合もある。	auto shutoff function
1810	自己診断機能	じこしんだん きのう	<b>複写機</b> の異常又は動作状態を自己検知し、その内容を表示し、使用時又はサービス時の処理を容易にする機能。	self-diagnosis function
1830	自動カラー選択機能	じどうからー せんたく	カラー原稿か白黒原稿か自動的に識別する機能。	automatic color selection

表 9-機構・機能名称 (続き)

番号	用語	読み方	意味	対応英語 (英語)
1832	自動用紙選択機能	じどうようしせん たくきのう	原稿サイズを自動的に検知し、倍率を指定した場合には適切な用紙(サイズ)を選択する機能。	automatic copy-paper selection
1834	自動倍率選択機能	じどうばいりつせ んたくきのう	原稿サイズとコピーする用紙サイズに合わせて自動的にコピーできる倍率を選択する機能。	automatic magnification selection
1836	独立変倍	どくりつへんばい	原稿に対して縦横独自に <b>複写倍率</b> を設定できる機能。片偏倍ともいう。	x/y independent magnification (scaling)
1838	定型変倍	ていけいへんばい	定型サイズ of 原稿及び用紙間で適切な縮小拡大コピーとなる <b>複写倍率</b> 。	preset zoom
1840	単色カラー	たんしょくからー	原稿の色に関係なく、黒以外の単色でコピーする機能。 モノカラーともいう。	single color copy
1842	文字・写真モード	もじしゃしんもー ど	文字だけの原稿ではなく写真などの中間調が混在した原稿をより忠実に再現するために設定されたモード。	text/photographic mode
1844	N in 1	えぬいんわん	複数の原稿をまとめて一枚の用紙上にレイアウトしてコピーする機能。 集約機能, マルチショット, まとめて1枚, 縮小レイアウトともいう。	N-in-1
1846	両面機能	りょうめんきのう	原稿を自動的に両面コピーする機能。 両面機能として、両面→両面, 片面→両面, 両面→片面がある。	duplex function
1848	ズーム		設定可能な範囲で任意の <b>複写倍率</b> で縮小拡大コピーを行う機能。一般に縮小拡大の上下限内で1%刻みの設定を行うことができる。	zoom magnification
1850	トナーセーブモード		コピー濃度が低くなる画像処理を行い、 <b>トナー</b> の消費を抑えるためのモード。	toner saving mode
1852	1 to 1 モード	わんつーわんもー ど	自動 <b>原稿送り装置</b> を用いて複数の原稿から1部のコピーを行うこと。	1 to 1 mode

## j) 周辺機器

表 10—周辺機器名称

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1910	原稿送り装置	げんこうおくりそ うち	1枚ずつ手で挿入した原稿を自動的に原稿面ガラス上に送り込み、コピー完了後、自動的に原稿を排出する装置。	document feeder
1911	自動原稿送り装置	じどうげんこうお くりそうち	あらかじめセットした原稿を、1枚ずつ自動的に原稿面ガラス上に送り込み、コピー完了後、自動的に原稿を排出する装置。	automatic document feeder (ADF)
1940	ソーター		多数枚のコピーをとる場合、自動的に分類及びページ揃えをする装置。	sorter
1941	ビン		<b>ソーター</b> において、排出されたコピーを受ける棚又は容器。	bin
1950	フィニッシャー		複数原稿を1部ずつ仕上げて排出し積載する装置。	finisher
1952	ステープル		<b>ビン</b> やトレイに収容した用紙を自動的に針でとじる機能又は装置。	staple
1954	パンチ		コピー用紙にファイルのための穴を開ける機能又は装置。	punch
1956	中とじ	なかとじ	複写された用紙の中央部に自動的に <b>ステープル</b> を行い、二つ折に製本する機能。	saddle stitch
1958	Z折り	ぜつとおり	折様式の一つで、二つ折りされた用紙の一方を更に二つ折りして、断面がZ形状に折ること。	z-fold
1960	大容量トレイ	だいようりょうと れい	一般に数千枚以上の用紙を収容できる <b>給紙トレイ</b> 。	large capacity tray
1962	オフセットキャッチトレイ		1部ずつ仕上げる <b>フィニッシャー</b> において、排出方向と直角の方向に1部ごとにずらして排出させること。 シフトトレイともいう。	offset catch tray (shift tray)
1964	両面ユニット	りょうめんゆにつ と	<b>定着</b> 後の用紙の先後端を反転させる紙パスを有し用紙の表裏の面にコピーを行うための装置。	duplex unit

表 10－周辺機器名称（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1966	シートインサーター		コピーされた用紙束に区切りや表紙として用紙を挿入させる装置。	sheet- inserter
1968	シートスルー装置	しーとすーそうち	読み取り装置（スキャナー等）を固定し、原稿を移動させて画像を読みとる装置。 シングルパスフィーダーともいう。	sheet-through device

## 4.2 部品

## a) 操作パネル

表 11ー操作パネル部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2004	コピー枚数セットキー	こぴーまいすうせ つときー	必要コピー枚数をあらかじめ設定するキー。単にテンキーということもある。	copy quantity keys
2005	コピーストップキー		連続コピー動作中に途中の任意の枚数でコピーを終了させるときに使用するキー。ストップキーともいう。	copy stop key
2008	クリアキー		入力した数値を取り消すためのキー。	clear key
2009	リセットキー		全ての入力情報を初期値に戻すキー。	reset key
2010	給紙トレイ選択キー	きゅうしとれいせ んたくきー	<b>給紙トレイ</b> 又はコピー用紙を選択するキー。用紙サイズ選択キーともいう。 <b>カセット</b> をもつ機械においては給紙カセット選択キーともいう。	paper tray select key
2011	スタートキー		コピー動作を始めさせるキー。 コピーキーともいう。	start key
2012	節電キー	せつでんきー	エネルギー消費を削減する為に節電モードを入切するキーのこと。	energy-saver key
2035	紙詰り表示	かみづまりひょう じ	紙詰り状態又はその場所を示すランプ若しくは表示。紙詰り点検（位置）表示ランプ、ジャム表示ともいう。	paper jam indicator
2050	液晶タッチパネル	えきしょうたっち ぱねる	液晶画面による操作パネルで、指で触れることで入力設定が行えるもの。 LCD パネルともいう。	LCD touch panel

## b) 給紙・搬送・駆動

表 12—給紙・搬送・駆動部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2101	ドライブローラー		動力伝達のもととなるローラー。	drive roller
2102	テンションローラー		ベルトなどを張るためのローラー。	tension roller
2103	アイドルローラー		ベルトなどを支持するだけのローラー。	idle roller
2104	給紙ローラー	きゅうしーらー	<b>給紙トレイ</b> ，給紙カセットから送り出された用紙を機内へ1枚ずつ送り込む分離機構部のローラー対で用紙を機内へ搬送するためのローラー。	feed roller
2105	分離ローラー	ぶんりーらー	<b>給紙ローラー</b> と対を成し <b>給紙トレイ</b> ，給紙カセットから送り出された用紙に摩擦力を与えて重送紙を機内へ送り込むのを防ぐローラー。 捌きローラー，リタードローラー，逆転ローラーともいう。	separation roller
2106	レジストローラー		用紙が <b>感光体</b> 上の <b>トナー</b> 像と同期して <b>転写</b> されるように用紙搬送タイミングを制御するローラー対。 ペーパーストップローラーともいう。	paper stop roller
2107	ピックアップローラー		<b>給紙トレイ</b> や給紙カセットから用紙を機内へ送り出すローラー。 紙送り出しローラーともいう	pick-up roller
2108	搬送ローラー	はんそうらー	機内の紙パス経路に配置され用紙を搬送するローラーのこと。	conveyance roller
2109	除電ブラシ	じょでんぶらし	複写工程や摩擦帯電などで用紙に付与された電荷を放電消去するための導電性ブラシ。除電針ともいう。	discharging brush
2120	カセット		シート状のコピー用紙を格納し，着脱ができ，本体と連動して <b>給紙</b> ができるように構成された箱。	cassette

表 12－給紙・搬送・駆動部品（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2130	給紙トレイ	きゅうしとれい	自動給紙のため、あらかじめ多数のコピー用紙をセットしておく器。通常は機械本体と一体となっているものが多い。給紙デッキともいう。	paper feed tray
2140	排紙トレイ	はいしとれい	複写されたコピー用紙を受けるもの。	copy receiving tray

## c) 帯電

表 13－帯電部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2401	感光体	かんこうたい	光導電性をもち、画像（光情報像）を <b>静電潜像</b> として記録するもの。形状としてドラム、シート又はベルトがあり、感光ドラム、感光ベルトなどという。	photoreceptor or photoconductor
2402	高圧ユニット	こうあつゆにつと	チャージャーに送る高電圧を発生させるもの。 高圧電源（HVPS）ともいう。	high voltage power supply (HVPS)
2403	チャージャー		チャージワイヤを電極とした <b>感光体</b> を <b>帯電</b> させる装置。 帯電器ともいう	charger
2404	チャージワイヤ		チャージャーの電極となるワイヤ。 一般的にタングステン線が用いられる。 帯電ワイヤともいう。	charging wire
2410	帯電ローラー	たいでんろーらー	<b>感光体</b> を均一に <b>帯電</b> させるために電圧が印加され接触回転するローラー。	roller charging device

## d) 露光・読み取り・書き込み

表 14－露光・読み取り・書き込み部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2501	露光ランプ	ろこうらんぷ	<b>露光</b> のための光源。 蛍光ランプ (fluorescent lamp), ハロゲンランプ (halogen lamp), キセノンランプ (xenon lamp) などがある。	exposure lamp
2503	レンズハウジング		レンズを支持し、遮光を目的とした箱。	lens housing
2504	レンズアレイ		ガラス又はプラスチックでできたマイクロレンズを、光軸と直角方向に1列又は複数列帯状に並べ一本化したもの。	lens array
2505	原稿台ガラス	げんこうだいからす	原稿面に使用する透明な板ガラス。プラテンガラスともいう。	original glass plate
2520	原稿（台）カバー	げんこう（だい）かばー	原稿面ガラス上の原稿を押さえる板。原稿押え、プラテンカバーともいう。	original cover
2522	光学（系）ユニット	こうがく（けい）ゆにとつ	原稿を照明する <b>露光ランプ</b> 、反射笠などの部品及びミラー、光学レンズなど、原稿像を <b>感光体</b> に <b>露光</b> するための部品全般を指す。デジタル機の場合には読み取りのためのラインセンサー及び <b>感光体</b> へのレーザー書き込みに関わる部品・ユニットが含まれる。 露光装置ともいう。	optical unit
2524	CCD ラインセンサー	しーしーでーらいんせんさー	数ミクロン角の受光素子を数千個一列に並べたワンチップの光電変換素子。走査線1ラインを読み取ることができるのでラインイメージセンサーという。	CCD line sensor

表 14—露光・読み取り・書き込み部品（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2526	レーザースキャンユニット		高速回転のポリゴンミラーにレーザー光を照射し、その反射光を結像レンズ、ミラーなどを経て <b>感光体</b> 表面に照射する装置。 書き込みユニットともいう。	laser scanning unit
2528	ポリゴンミラー		<b>感光体</b> へレーザー光を走査するために高速回転する多面体のミラー。	polygon mirror
2530	LED アレー	えるいーでーあれー	発光ダイオードを一行に並べた素子。	LED array

## e) 現像

表 15—現像部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2601	現像ローラー	げんぞうろーらー	<b>感光体</b> 表面に形成された <b>静電潜像</b> を <b>現像</b> するためのローラー。	developing roller
2620	現像ユニット	げんぞうゆにと	現像機構の一部で、 <b>現像剤</b> を収容する容器。（現像剤タンク、単に現像タンクともいう。）又は、 <b>感光体</b> 表面に形成された <b>静電潜像</b> を <b>現像</b> して可視像化する装置。 現像槽、現像器ともいう。	developing unit

## f) 転写

表 16－転写部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2650	転写帯電器 (転写チャージャー)	てんしゃたいでん き (てんしゃちゃ ージャー)	<b>コロナ帯電</b> を用いて <b>感光体</b> 上の <b>トナ</b> <b>ー</b> 像を用紙に <b>転写</b> するユニット。	transfer charger
2652	転写ローラー	てんしゃろーらー	表面に電荷を与えたローラーを用いて <b>感光体</b> 上の <b>トナ</b> ー像を用紙上に <b>転写</b> するローラー。	transfer roller
2654	転写ベルト	てんしゃべると	ベルト表面に与えられた電荷で複写用 紙を吸着搬送すると共に <b>感光体</b> 上の <b>ト</b> <b>ナ</b> ー像を用紙に <b>転写</b> するベルト部品。	transfer belt
2656	転写ドラム	てんしゃどらむ	<b>カラー複写機</b> において <b>感光体</b> の <b>静電</b> <b>潜像</b> が <b>現像</b> され、シアン、マゼン タ、イエロー及びブラックの各色 <b>ト</b> <b>ナ</b> ーの可視像を順次 <b>転写</b> するために <b>感光体</b> と対面し、複写用紙を保持す るドラム。	transfer drum
2658	中間転写体	ちゅうかんでんし ゃたい	<b>カラー複写機</b> において、4色の各色 <b>トナ</b> ー像を一旦順次転写（1次転 写）させ全色を蓄積させ、その後用 紙に一括 <b>転写</b> させる（2次転写）上 で媒体となる部品。ドラムやベルト のタイプがある。	Intermediate transfer unit

## g) 分離・剥離

表 17—分離・剥離部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2710	分離チャージャー	ぶんりちゃーじゃー	転写帯電器によってトナー像が転写された用紙を感光体から引き剥がすための帯電器。 転写後のコピー用紙を感光体から引き剥がすための帯電器。剥離チャージャーともいう。	separation charger
2720	分離爪	ぶんりつめ	転写後のコピー用紙を感光体から引き剥がすため、又は、定着後の用紙を定着ローラー（ヒートローラー、加圧ローラー）から引き剥がすための爪。	separation claw

## h) 定着

表 18—定着部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2802	定着ヒーター	ていちゃくひーたー	コピー用紙にトナーを融着させる加熱器。	fixing heater
2803	定着ローラー	ていちゃくろーらー	圧力定着、熱ローラー定着などに用いられるローラーの総称。	fixing roller fuser roller
2804	ヒートローラー		コピー用紙にトナーを融着させるための加熱圧着を行なうローラー。 加熱ローラーともいう。	heat roller
2805	加圧ローラー	かあつろーらー	ヒートローラーと圧着して、用紙に対するトナーの投錨効果を上げ、送りを行うローラー。	pressure roller
2810	定着ユニット	ていちゃくゆにっ と	転写後のコピー用紙上のトナーを固着させる装置。定着器ともいう。	fusing unit (fixing unit)

## i) クリーニング

表 19-クリーニング部品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2901	クリーニングローラー		不要な <b>現像剤/トナー</b> を除去、清掃するためのローラー。主として <b>感光体</b> 、 <b>定着ローラー</b> などに用いる。	cleaning roller
2902	クリーニングブレード		不要な <b>現像剤/トナー</b> を除去、清掃するためのブレード。主として <b>感光体</b> 、 <b>定着ローラー</b> などに用いる。	cleaning blade
2903	クリーニングウェブ		不要な <b>現像剤/トナー</b> を除去、清掃するための布又は紙など。主として <b>感光体</b> 、 <b>定着ローラー</b> などに用いる。	cleaning web
2904	クリーニングパッド		不要な <b>現像剤/トナー</b> を除去、清掃するための厚手の布又は紙。 <b>定着ローラー</b> などに用いる。 クリーニングフェルトともいう。	cleaning pad
2905	クリーニングブラシ		不要な <b>現像剤/トナー</b> を除去、清掃するためのブラシ。主として <b>感光体</b> などに用いる。 ファーブラシともいう。	cleaning brush
2910	クリーニングユニット		不要な <b>現像剤/トナー</b> を除去、清掃するための装置。 クリーナーユニット、クリーニング装置ともいう。	cleaning unit
2920	廃トナーボトル（容器）	はいとなーぼとる（ようき）	クリーニングユニットで清掃、除去され集められた <b>現像剤/トナー</b> の回収容器。	waste toner bottle

## 4.3 消耗品

表 20－消耗品

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
3001	現像剤	げんぞうざい	<b>現像</b> のために用いられる消耗品の総称。 (トナー、キャリアー、一成分トナー、スタート現像剤などの総称)。	developer
3004	スタート現像剤	すたーとげんぞうざい	トナーとキャリアーを規定の比率で配合した <b>現像剤</b> 。	start developer
3006	トナー		静電式の <b>現像</b> に用いる微細な着色粒子。	toner
3007	一成分トナー	いちせいぶんとなー	<b>キャリアー</b> を必要としない現像方式で用いるトナーで、 <b>キャリアーレス</b> トナーともいう。これには磁性粉を含む磁性トナーと含まない非磁性トナーとがある。	monocomponent toner (single-component toner)
3008	キャリアー		静電式（乾式） <b>現像</b> に用いる <b>トナー</b> の保持剤のことで <b>トナー</b> と混合する微細な鉄粉やマグネタイトなどの磁性粒子などである。 キャリアーともいう。	carrier
3009	トナーカートリッジ		機体にセットして <b>トナー</b> の補充を行う容器。トナーボトルともいう。	toner cartridge
3011	第2原図用紙	だいにげんずようし	原稿から第2の原稿を複製するために用いる用紙。通常は透過露光方式の複写に適した紙質のもの。	intermediate paper
3012	フォーム用紙	ふおーむようし	伝票、証券などあらかじめ各種の書式が印刷された用紙。プレプリント用紙ともいう。	form paper
3013	ラベル用紙	らべるようし	のり付剥離紙。ダイレクトメールの宛名や荷札、ラベルなどに用いられる。	label paper
3020	2成分現像剤	にせいぶんげんぞうざい	一般に <b>トナー</b> とその保持剤である <b>キャリアー</b> が規定の比率で混合されたものをいう。	two component developer

## 4.4 環境

表 21－環境用語

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
4010	省エネモード	しょうえねもーど	レディモードにおいて、一定時間コピー動作や外部からの信号がないときに自動的に移行する節電状態。 また、マニュアルで切り替わる節電状態も含まれる。 低電力モード、オートオフモード、スリープモードなどを総称して省エネモードと呼ぶ。	power saving mode
4020	低電力モード	ていでんりょくもーど	国際エネルギースタープログラム規定による省エネモード。	low power mode
4022	オートオフモード		国際エネルギースタープログラム規定による省エネモード。	auto off mode
4024	スリープモード		国際エネルギースタープログラム規定による省エネモード。	sleep mode
4030	除湿ヒーター	じょしつひーたー	機内を暖め、性能に影響を与える恐れのある相対湿度を下げるヒーターのこと。結露防止ヒーターも含まれる。	anti-humidity heater
4050	エネルギー消費効率	えねるぎーしょうひこうりつ	エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）の規定による、1時間当たりの消費電力量。	energy consumption efficiency
4070	国際エネルギースタープログラム	こくさいえねるぎーすたーぷろぐらむ	省エネ機器を対象とした、日米間で合意した任意登録制度	energy star program

## 4.5 別表

以下、平成15年3月の改正時点では使われなくなった用語を集約した。

表 22－使われなくなった用語

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1010	*ジアゾ複写機	じあぞふくしゃき	ジアゾ化合物の光分解性を応用した複写機。	diazo copying machine
1011	*湿式ジアゾ複写機	しっしきじあぞふくしゃき	<b>現像</b> に液体を使用するジアゾ複写機。	semidry process diazo copying machine
1012	*乾式ジアゾ複写機	かんしきじあぞふくしゃき	アンモニア蒸気によって <b>現像</b> を行うジアゾ複写機。	ammonia process diazo copying machine
1013	*熱式ジアゾ複写機	ねつしきじあぞふくしゃき	熱によって <b>現像</b> を行うジアゾ複写機。	thermal process diazo copying machine
1014	*加圧式ジアゾ複写機	かあつしきじあぞふくしゃき	微量のアルカリ溶液を圧力を加えて <b>転写</b> することによって <b>現像</b> を行うジアゾ複写機。	pressure development process diazo copying machine
1021	*直接静電複写機	ちよくせつせいでんふくしゃき	光導電性物質を塗布した感光紙を用いて、これに直接可視像を作成する複写機。	direct method electrostatic process copying machine
1022	*乾式直接静電複写機	かんしきちよくせつせいでんふくしゃき	粉状の <b>現像剤</b> を用いて可視像を形成する直接静電複写機。	dry process direct method electrostatic copying machine
1026	*湿式間接静電複写機	しっしきかんせつせいでんふくしゃき	液状の <b>現像剤</b> を用いて可視像を形成する間接静電複写機。	liquid process indirect method electrostatic copying machine
1122	*ロール自動給紙方式	ろーるじどうきゅうしほうしき	ロール状のコピー用紙又は感光紙を自動的に切断して <b>給紙</b> する方式。	automatic roll paper feed
1131	*ステップカット方式	すてっぷかっとうほうしき	コピー用紙又は感光紙の切断長さを段階的に選択できる方式。	step cut
1132	*ランダムカット方式	らんだむかっとうほうしき	コピー用紙又は感光紙の切断長さを自由に決めることができる方式。	random cut
1133	*シンクロカット方式	しんくろかっとうほうしき	コピー用紙又は感光紙の切断長さが、原稿の長さに応じて自動的に決められる方式。	synchro cut

表 22—使われなくなった用語（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1201	*シングルコロナ帯電	しんぐるころなたいでん	<b>感光体</b> 又は感光紙の感光面に特定の極性の放電電極を設け、コロナ放電によって <b>帯電</b> させること。	single-corona charging
1202	*ダブルコロナ帯電	だぶるころなたいでん	感光紙の両面に異極性の放電電極を設け、コロナ放電によって <b>帯電</b> させること。	double-corona charging
1301	*全面露光方式	ぜんめんろうこうほうしき	全画像を同時に <b>露光</b> する方式。	whole image exposure type
1302	*スリット露光方式	すりつとろこうほうしき	<b>感光体</b> 又は感光紙、原稿及び光学系を一定関係にして移動させながら順次 <b>露光</b> する方式。	slit exposure type
1311	*透過式露光方式	とうかしきろこうほうしき	原稿側から光を当てて <b>露光</b> を行う方式。	contact printing of transperence
1321	*原稿固定式露光方式	げんこうこていしきろこうほうしき	原稿を固定して <b>露光</b> を行う方式。	stationary original exposure type
1322	*原稿移動式露光方式	げんこういどうしきろこうほうしき	原稿を移動させながら <b>露光</b> を行う方式。	moving original exposure type
1340	*色地の原稿	いろじのげんこう	原稿の地の色が白くないもの、例えば、色紙、新聞のようなもの。	colored original
1420	*熱現像	ねつげんぞう	感光紙面に熱を当てて、 <b>現像</b> すること。	heat developing
1430	*ガス現像	がすげんぞう	アンモニア水を蒸発させ、感光紙面に当てて <b>現像</b> すること。	ammonia gas developing
1440	*湿式現像	しっしきげんぞう	<b>感光体</b> 又は感光紙を湿潤状態で <b>現像</b> すること。	wet developing
1441	*塗布式現像	とふしきげんぞう	現像液を <b>現像ローラー</b> で感光紙面に塗布して <b>現像</b> する方式。	coat-type developing
1442	*浸せき式現像	しんせきしきげんぞう	現像液中に感光紙を通過させて <b>現像</b> する方式。	dip-type developing

表 22－使われなくなった用語（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
1520	*潜像転写方式	せんぞうてんしゃ ほうしき	<b>感光体</b> 表面に形成された潜像をそのままコピー用紙に <b>転写</b> する方式。	electrostatic latent image transfer process
1530	*リテンション方式	りてんしょんほう しき	1回の <b>露光</b> によって <b>感光体</b> に作られた一つの潜像から多数枚のコピーを取る方式。	retention system
1604	*ベルト分離	べるとぶんり	ベルトを用いて <b>感光体</b> からコピー用紙を <b>分離</b> すること。	belt separation
1711	*オープン定着	おーぶんていちゃ く	ランプヒーター、リボンヒーターなどのふく射熱で <b>定着</b> させること。ランプヒーター定着、リボンヒーター定着、ヒーター定着ともいう。	oven fixing
1712	*熱板定着	ねっぱんていちゃ く	加熱された金属板等に接触させることにより、 <b>定着</b> させること。	heat plate fixing
1920	*原稿排出装置	げんこうはいしゅ つそうち	必要なコピー枚数がコピーされた後、原稿を自動的に排出する装置。	document assist device (DAD)
1930	*オーバーレイ		原稿を何ら変えることなく、追加、変更、抹消など、複写物の構成を変える装置。	overlay
2001	*インジケーター		機械のいろいろの使用状態を示す表示器。	indicator
2002	*リピートカウンター		必要複写枚数があらかじめ設定できる枚数計で、あらかじめ設定した枚数をコピーした後、再び設定した枚数値へ自動復帰するもの。	repeat counter
2003	*プリセットカウンター		必要コピー枚数をあらかじめ設定できる枚数計で、あらかじめ設定した枚数をコピーした後、再び設定した枚数値へ自動復帰しないもの。	preset counter

表 22—使われなくなった用語（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2006	*露光調整レバー	ろこうちょうせい ればー	<b>複写濃度</b> を調整するレバー又はつまみ。 濃度調整レバーということもある。また見やすいコピー画像が得られるように、原稿の種類に応じて選択するキーを使用することもある。このキーは、プリントキーを兼ねている場合もある。	exposure control lever
2007	*速度つまみ	そくどつまみ	ジアゾ複写機において、 <b>複写濃度</b> を調整するため、紙送り速度を調節するつまみ。	speed control knob
2030	*準備中表示	じゅんびちゅうひ ようじ	コピー動作が可能となるように機械が準備している間であることを示すランプ又は表示。	waiting indicator
2032	*給紙トレイ表示	きゅうしとれいひ ようじ	選択した <b>給紙トレイ</b> を示すランプ又は表示。	paper tray indicator
2033	*用紙サイズ表示	ようしさいずひよ うじ	コピー用紙のサイズを示すランプ又は表示。	paper size indicator
2034	*現像剤点検表示	げんぞうざいてん けんひようじ	<b>現像剤</b> の補給状態を点検する必要があることを示すランプ又は表示。湿式現像の場合、ボトル交換ランプ又は表示という場合もある。	developer check indicator
2036	*マスター交換表示	ますたーこうかん ひようじ	マスターシート（シート状の <b>感光体</b> ）を交換する必要があることを示すランプ又は表示。単にマスターランプ又は巻取りインジケーターということもある。	master sheet change indicator
2132	*ペーパー軸	ペーパーじく	ロール状のコピー用紙又は感光紙に通す軸。	paper supporting shaft
2134	*巻取軸	まきとりじく	複写の終わったコピー用紙又は感光紙を巻き取る軸。	paper winding shaft
2136	*カッター		コピー用紙又は感光紙を切断する刃の組合せ。	cutter

表 22－使われなくなった用語（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2201	*案内板	あんないばん	原稿（原図）やコピー用紙又は感光紙などを正しい位置に誘導するための装置を構成している板。	guide plate
2202	*テーブル		ジアゾ複写機において、原稿（原図）や感光紙に挿入を容易にするための台。	table
2203	*原稿受	げんこううけ	露光部を通った後の原稿又は原図を受けるもの。	original receiving tray
2502	*安定器	あんていき	ランプを適当に点灯させるための機器で、水銀ランプ用と蛍光ランプ用とがある。	ballast choke (stabilizer)
2506	*焦点面ガラス	しょうてんめんがらす	映像のぼけを防止するために複写用レンズの焦点面上に取り付ける透明な板ガラス。	focal glass plate
2507	*スリットガイド		焦点面ガラスと相対した感光紙裏面に接する案内板。	slit guide plate
2508	*シリンダガラス		焼付部に使用する透明な円筒状のガラス。	cylinder glass
2509	*焼付ベルト	やきつけべると	シリンダガラスを回転させ、原稿と感光紙とを密着させて搬送するベルト。	printer belt
2510	*冷却タイマー	れいきゃくたいまー	複写作業終了後、シリンダガラス内の温度を下げるためにファンなどを一定時間作動させるもの。	cooling timer
2602	*絞りローラー	しばりろーらー	2本一組で又は <b>現像ローラー</b> と共に働いて余分の現像液を絞るローラー。	squeezing roller
2603	*気化ヒーター	きかひーたー	アンモニア水を蒸発させるための加熱器。	evaporating heater
2604	*補助ヒーター	ほじょひーたー	現像タンク内の温度を保つための加熱器。	space heater

表 22—使われなくなった用語（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2605	*現像皿	げんぞうざら	<b>感光体</b> 又は感光紙を <b>現像</b> する目的で現像液をためる皿。	developing tray
2606	*現像皿受	げんぞうざらうけ	現像皿を載せ、現像皿からあふれ出た液を受けるもの。	developing tray retainer
2607	*現像液ポンプ	げんぞうえきぼん ぷ	現像液を循環させるポンプ。	developer pump
2608	*フロート		現像液タンク中の液量を検出するための浮子。	float
2610	*ガス現像タンク	がすげんぞうたん く	アンモニアガスをため、 <b>現像</b> する容器。	developing tank
2611	*気化皿	きかざら	アンモニア水を受け、蒸発させるための皿。	evaporating tray
2612	*アンモニア滴下ガラス	あんもにあてきか がらす	アンモニア水の滴下状態を観察するためのもの。	drip gauge
2613	*ゴムスリーブ		ガス現像タンク開口部に接し、感光紙を搬送する筒状のベルト。	sealing sleeve
2614	*給液ボトル	きゅうえきぼとる	機体にセットして液の補充を行う容器。 現像用給液ボトル、溶剤用給液ボトルなどがある。補充液ボトルともいう。	supplying bottle
2615	*給液キャップ	きゅうえききやつ ぷ	給液ボトルのふた。給液弁付きのものもある。	supplying cap
2616	*給液弁	きゅうえきべん	給液キャップに付いているバルブ。	supplying valve
2617	*排液チューブ	はいえきちゅーぶ	液を排出させるための管。	drain tube
2701	*巻付防止爪	まきつきぼうしづ め	ローラーに感光紙が巻きつかないように設けられた爪。	guide
2702	*原稿はがし	げんこうはがし	原稿又は原図と感光紙とをシリンダガラスからはがすもの。	original separator
2801	*乾燥ヒーター	かんそうひーたー	コピーを乾燥させる加熱器。	drying heater
2806	*ドライヤー		風を送り、コピーを乾燥させるもの。	dryer
2807	*ヒーターホルダ		ヒーターを支持するもの。	heater holder

表 22－使われなくなった用語（続き）

番号	用語	読み方	意味	対応英語（英語）
2906	*フィルタバッグ		<b>感光体</b> から取除かれた不要な <b>現像剤</b> を回収する袋又は容器。	filter bag
3002	*現像液	げんぞうえき	<b>現像</b> するための液で、ジアゾ式ではあらかじめ <b>現像剤</b> と水とを調合した既製のものと、使用者が <b>現像剤</b> を水に溶かし調合して作ったものがある。 また、静電式では <b>トナー</b> を分散剤で分散させたものをいう。	liquid developer
3003	*分散剤	ぶんさんざい	静電式（湿式） <b>現像</b> に用いる <b>トナー</b> を分散させる液。複写機の分野では、慣用語として、溶剤ともいわれている。	dispersing agent dispersant
3005	*補充現像剤	ほじゅうげんぞうざい	<b>現像</b> によって変化した <b>現像剤</b> の配合比率を適当な比率に戻すための <b>現像剤</b> 。液体の場合は、特に補充現像液ともいう。なお、プレミックス現像剤ともいう。	replenishment developer
3014	*オフセットマスター紙	おふせつとますたーし	原稿からオフセット印刷用のマスターを作成するために用いる用紙。	offset master paper

# 複写機用語 解説

この解説は、本体及び附属書に規定・記載した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

## 1 制定の趣旨

本規格は、一般使用者がカタログ・取扱説明書を理解する上で、分かりにくい言葉、製造業者側の標準化のために必要な用語を制定した。

## 2 改正の経緯

JBMS-01 の平成 15 年の改正から 20 年が経ち、引用規格の廃止があったため改正を決定した。

## 3 今回の改正の趣旨

引用規格の廃止対応。

## 4 主な改正点

主な改正点は、次のとおりである。

- a) 引用規格の JIS B 0117 は 2020 年に廃止されたため、“1 適用範囲 (Scope)” に記載されていた“備考 各事務機械の種類の種類は、JIS B 0117 (事務機械の名称に関する用語) による。”を削除した。
- b) ビジネス機械・情報システム産業協会規格の作成基準 (JBMS-27:2017) のフォーマットに全頁を適合させた。適用範囲の英文対応、指定フォントへの整合。

## 5 審議中に問題となった事項

特になし

## 6 懸念事項

特になし

## 7 その他

特になし

## JBMS - 01 複写機用語

編集兼

田中 博敏

発行人

発行所 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7階

Tel 03-6809-5010(代表)